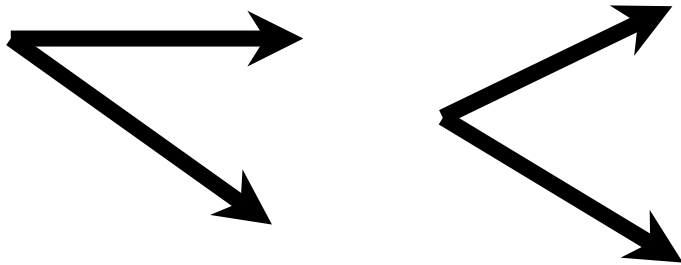


Sample

『ビジュアル基本パターン』

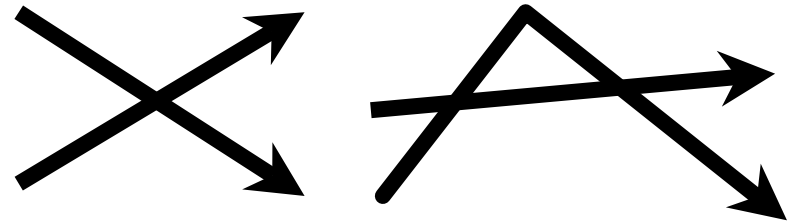
スプレッドパターン

過去からのおかしさが徐々に大きくなっている



デッドクロスパターン

急激な変化 危険！



ウェーブパターン

変化に波がありすぎる 不安定



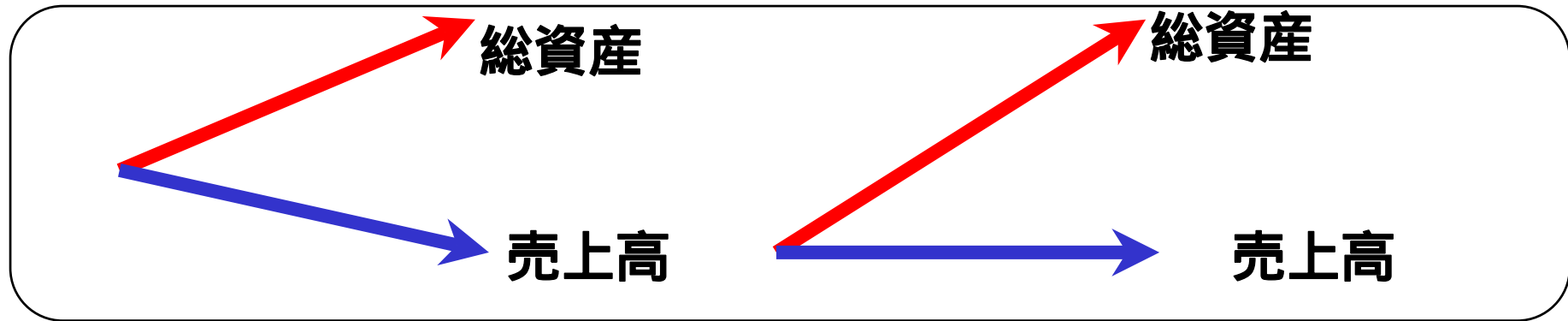
【勘定科目】

販売債権 = 売掛金 + 受取手形 + 割引手形 + 裏書手形
(+ 未収入金)

仕入債務 = 買掛金 + 支払手形 + 裏書手形 (+ 未払金)

借入金 = 短期借入金 + 長期借入金 + 社債 + 割引手形

「栄養失調スプレッド」(総資産:売上高)



【想定される状況】

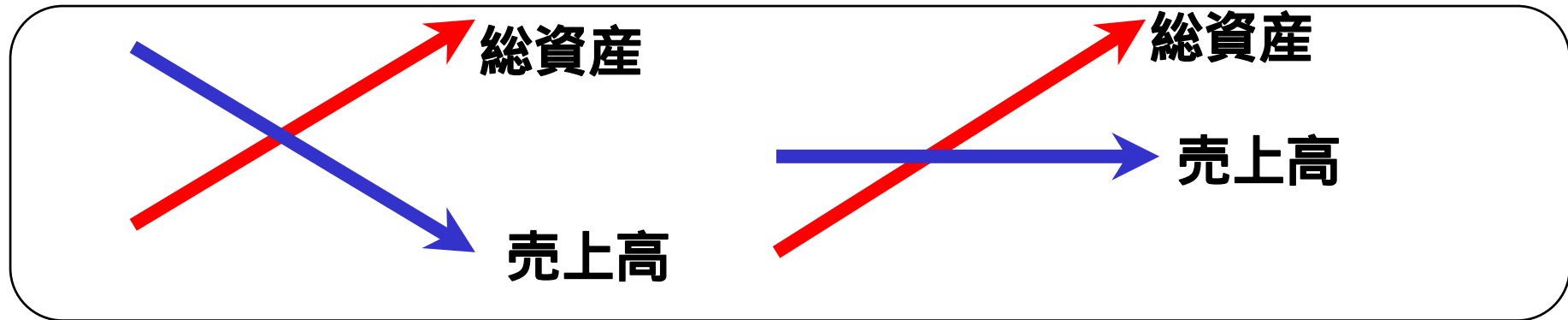
体重が増えているにもかかわらず、十分な食事が取れていない

生命(総資産)維持のために必要な食事(売上高)が不足しているのだから、やがては栄養失調となり、自分の生命を支えることができない。つまり、“長生き”できない体質であり、食事(売上高)の量に合わせて体重(総資産)を減らすか、体重(総資産)に合わせて食事(売上高)を増やすしかない。

【注意すべき点】

その後、慌てて、ダイエットにはげみ過ぎると、「拒食症デッドクロス」を併発しやすい

「リバウンドデッドクロス」(総資産:売上高)



【想定される状況】

水を飲んでも太ってしまう

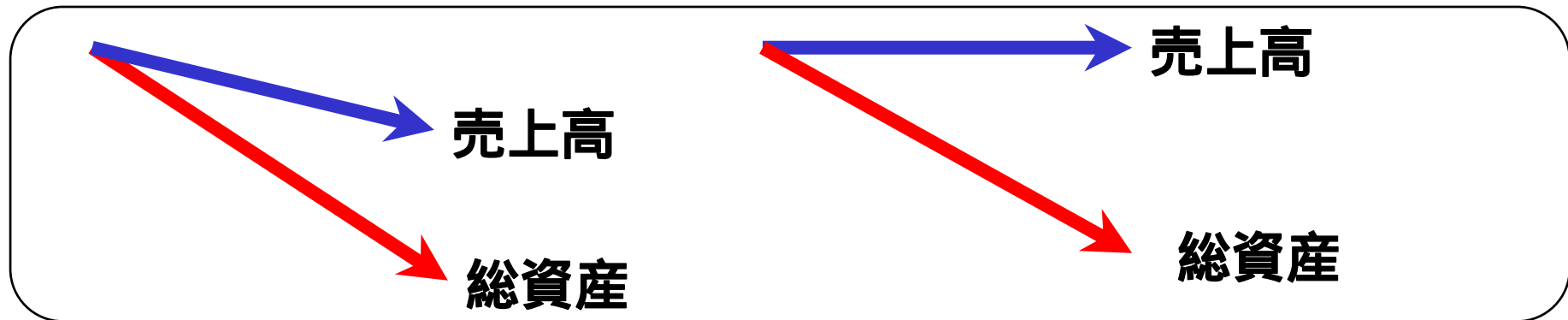
特にダイエットに成功して、安心してきていると発症しやすい。つまり、総資産(体重)に対して、監視の目を光らせておかなかったために、不良資産(ぜい肉)があっという間に増えてしまった状態。

当然、このまま行けば、摂取できる食事の量が減っていくのだから、栄養失調スプレッドを形成することとなり、健康を維持することが難しく、長生きができなくなる。

【注意すべき点】

その後、慌てて、ダイエットにはげみ過ぎると、「拒食症デッドクロス」を併発しやすい

「ダイエットスプレッド」(総資産:売上高)



【想定される状況 ダイエット】

ダイエットの理由: 食事(売上高)が減ったから

生命(総資産)維持のために必要な食事(売上高)が不足しているのだから、このままでは栄養失調となってしまう。そこで、栄養失調にならないためにダイエットを行っている状態。

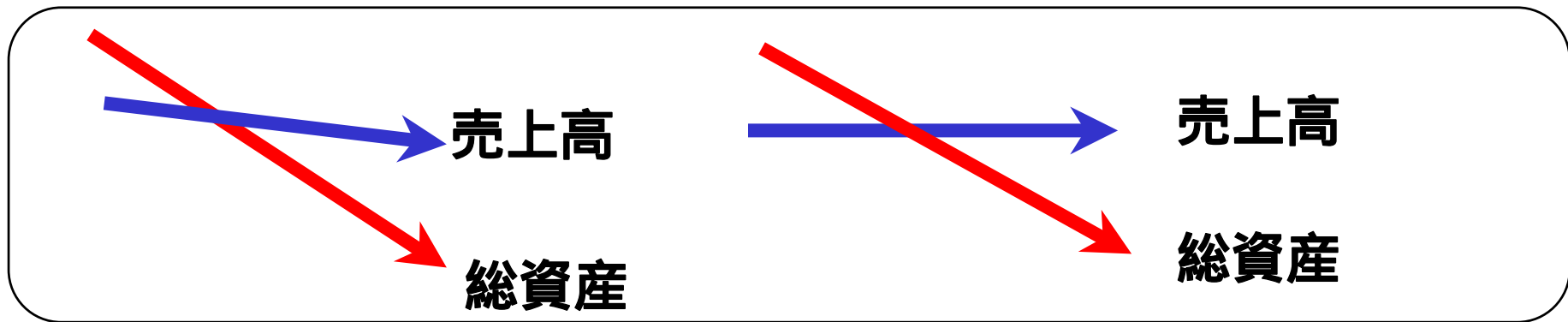
ダイエットの理由: 少しでも食事(売上高)を多くとりたいから

食事の量(売上高)は現状維持だが、将来の食料不足に備えて、今のうちから、少ない食事でも生きていけるように、自分の体重を減らしている状態

【注意すべき点】

その後、慌てて、ダイエットにはげみ過ぎると、「拒食症デッドクロス」を併発しやすい

「拒食症デッドクロス」(総資産:売上高)



【想定される状況 ダイエット】

ダイエットのしすぎ

生命(総資産)維持のために必要な食事(売上高)が不足しているのだから、このままでは栄養失調になってしまう。そこで、栄養失調にならないために急激にダイエットを行った状態。

ダイエットの理由:少しでも食事(売上高)を多くとりたいから

食事の量(売上高)は現状維持だが、将来の食料不足に備えて、今のうちから、少ない食事でも生きていけるように、急激に自分の体重を減らした状態。

【注意すべき点】

過去に「リバウンドデッドクロス」の発症経験があり、その後、「拒食症デッドクロス」を発生させた場合、もしくは、再発させた場合、一気に破綻に至りやすい(体がボロボロ担ってしまっている状態)。